

東京の帝京高校サッカー部を九回の全国制覇に導き、高校サッカー界の名将と呼ばれる古沼貞雄氏。大阪の清風中学体操部の団体二十連覇に大きく貢献し、数々のオリンピック選手を育てた城間晃氏。東西のスポーツ界の名将二人が語り合う、夢と勝利に懸けた執念の軌跡。



対談

# 常勝軍団は つくろうして たたく

## サッカー指導者 古沼貞雄

こぬま・さだお——昭和14年東京都生まれ。39年日本大学卒業。同年帝京高等学校赴任。翌40年同校サッカー部監督に就任し、指導に当たった39年間で9回の全国制覇を達成。平成17年退職後、東京ヴェルディのアドバイザーに就任。20年顧問、21年2月に退任し、現在は全国の高校サッカー部の指導に当たっている。その軌跡は元川悦子著『古沼貞雄 情熱』(学研)に詳しい。

## 城間 晃 シロマスポーツクラブ理事長

しろま・あきら——昭和28年大阪府生まれ。清風高等学校、大阪体育大学出身。体操競技のジュニア指導者として30年以上にわたって選手育成に携わり、その間、清風中学の全国中学校体操競技選手権大会の団体20連覇(昭和58～平成14年)に大きく貢献。多くのオリンピック選手を育成した実績により、平成16年に日本体操協会功労賞を受賞。19年大阪府松原市にシロマスポーツクラブを設立。著書に『基本力「大きく伸ばす」人の育て方-』(ダイヤモンド社)。